

2014年度教育改革支援本部 自己点検・評価報告書

第1章 理念・目的

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		根拠資料 Alt+Enterで簡条書きに	
		効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述		(中長期的対応) H列にあれば記述
(1) 付属機関等の理念・目的は適切に設定されているか							
a	◎高等教育機関として大学が追及すべき目的(建学の精神、教育理念、使命)を踏まえて、当該付属機関・委員会の理念・目的を設定していること。 【約500字】	① 理念・目的の明確化 大学の教育理念に基づく教育の質的向上を図るとともに、社会に有用な人材を育成するための優れた教育改革への取組に対する支援・推進を目的としている【1-38-1 第1条】。 ② 実績や資源から見た理念・目的の適切性 「特色ある大学教育支援プログラム」や、「現代的教育ニーズ支援プログラム」等、文部科学省が行う大学の教育改革への支援事業-GP (Good Practice) ーに対応するため、2004年11月に教育改革支援本部を設置した。大学の教育理念に基づく教育の質的向上を図るとともに、社会に有用な人材を育成するための優れた教育改革への取組に対する支援・推進を目的として、学長の下に明治大学教育改革支援本部を設置したものである【1-38-1 第1条】。 (ア)GPへの申請活動 2014年度は、スーパーグローバル大学等事業「スーパーグローバル大学創成支援」へ申請し、タイプBに採択された【1-38-2】 (イ)教育改革事業への支援 各種教育支援プログラムに対応する取組の育成が重要である。文部科学省の政策や情報に注意を払い、教育改革支援本部が中心となり積極的に取組の発掘を行い、また財政支援を行っている【1-38-3, 1-38-4】。					1-38-1 教育改革支援本部規程 1-38-2 ホームページ[スーパーグローバル大学等事業] http://www.meiji.ac.jp/gakucho/info/2014/6t5h7p00000hv5gj.html 1-38-3 明治大学教育改革支援・推進経費内規 1-38-4 明治大学教育改革支援・推進助成費申請書
b	●当該付属機関・委員会の理念・目的は、建学の精神、目指すべき方向性等を明らかにしているか。 【約100字】	社会に有用な人材を育成するために、特に優れた教育改革への取組に対する支援・推進を惜しまず、大学の教育理念に基づく教育の質的向上を図っている【1-38-1】。					
(2) 付属機関等の理念・目的が、教職員及び学生に周知され社会に公表しているか							
a	◎公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生、受験生を含む社会一般に対して、当該大学・学部・研究科の理念・目的を周知・公表していること 【約150字】	本学ホームページ(明治大学教育改革の取組)において公表している【1-38-5】。また、GP採択プログラムに対する感想や意見などを参加者から求める「明治大学GP採択事例報告会」に学内外へ参加を呼びかけ、外部にも公表も行っている。					1-38-5 明治大学ホームページ「明治大学教育改革の取組」 http://www.meiji.ac.jp/edu/gp/index.html
(3) 付属機関等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか							
a	●理念・目的の適切性を検証するに当たり、責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。 【約300字】	定期的に教育改革支援本部会議を開催し、理念・目的の適切性について検証している。2014年度は、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+)や「大学教育再生加速プログラム」(AP)の公募状況を的確に本部員へ周知し、常に申請の可能性を模索してきた。また、申請まで至らなかったが、「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」について、文部科学省の説明会に参加し、申請を検討していた学内教員とともに文部科学省担当者へ事前相談するなど、積極的な支援をしてきた。					1-38-6 教育改革支援本部議事録(2014年5月13日)

2014年度教育改革支援本部 自己点検・評価報告書

第2章 教育研究組織

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		根拠資料 Alt+Enterで簡条書きに
		効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述 (中長期的対応) H列にあれば記述	
(1) 付属機関等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか						
a ①教育研究組織の設置状況は理念・目的に照らし、適切であるか。学術の進展や社会の要請と教育との適合性について配慮したものであるか。 ●教育研究組織は、当該大学の理念・目的を実現するためにふさわしいものであるか。 【約300字】	<p>※2014年度の新規事業の表については、別途「図」シートに添付</p> <p>教育改革支援本部を設置し、常時、情報収集や学内取組みの発掘及び支援に取り組む本部員を本部長指名とすることにより、学内適任者の能力を集約する【2-38-2 第1条】。</p> <p>① 教育研究組織の編成原理 本部は、目的を達成するため、特色ある大学教育改革の支援等の事業に関する次に掲げる任務を行う【2-38-2 第2条】。 (1) 教育改革支援事業の採択に向けての支援 (2) 教育改革支援事業に係る募集、審査、選定、申請等 (3) 教育改革支援事業に係る情報収集及び分析 (4) 教育改革支援事業に係る予算要求及び補助金収入の配分 (5) その他学長が必要と認めた事項</p> <p>① 理念・目的との適合性 文部科学省よりG Pの公募が掲出された際は、本学に適合する事業内容かを確認した上で、合致するものであれば学内の各機関に向け、公募を行っている。そして、申請があった場合は教育改革支援本部会議で検討し、学部長会へ上程している。さらに、大学として当該G Pに申請することが承認された際に、採択までの間の財政支援を教育改革支援本部の予算から行っている点からも理念・目的に適合している【2-38-3, 2-38-4】。</p> <p>③ 学術の進展や社会の要請と適合性 本部で取り扱う事業は、文部科学省が行うG Pに対応するものであり、これらはいずれも学術の進展や社会の要請に伴う事業に関連しているため、G Pの支援・推進を行う本部の活動は、これらに適合している【2-38-2：第1条】。</p>					2-38-1 2014年度予算管理簿 2-38-2 教育改革支援本部規程《既出1-38-1》 2-38-3 明治大学教育改革支援・推進経費内規《既出1-38-3》 2-38-4 文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」各事業への申請取組に対する経費助成について
(2) 付属機関等の教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか						
a ●教育研究組織の適切性を検証するにあたり、責任主体、組織、権限、手続きを明確にしているか。 ●その検証プロセスを適切に機能させて、改善に結びつけているか。 【約500字】	<p>年に1度、G P採択事例報告会を開催し、G Pの活動実績を報告するほか、本部の活動も検証している。2014年度は、スーパーグローバル大学創成支援（タイプB）申請の際に、経費助成をすることにより採択の支援をすることができた。また、他G Pプログラムに対しても本部員へ周知し、申請可能なプログラムがあれば、文部科学省の説明会参加や事前相談設定など積極的に活動してきた。</p>					

2014年度教育改革支援本部 自己点検・評価報告書

第4章 教育内容・方法・成果 2. 教育課程・教育内容

点検・評価項目	現状の説明	評価		発展計画		根拠資料
		効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」 に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述 (中長期的対応) H列にあれば記述	
<p>◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。</p>						
<p>(1) 教育課程の編成・実施方針に基づき授業科目を開設し体系的に編成しているか</p>						
<p>必要な授業科目の開設状況</p> <p>a ◎GPIに基づき、必要な授業科目を開設していること。 【600字～800字程度】</p>	<p>本学の教育課程の責任者は教務部長（教務担当副学長兼務）であり、4名の副教務部長が教育開発、学習支援、入学試験、キャリア支援等を分掌している。教育課程については、「教育開発・支援センター」（センター長：教務部長）が、授業改善やFD、全学教育科目の運営等の全学的な側面から教育改革を先導し【4(2)-1-6】、「教育改革支援本部」（本部長：副教務部長）が各学部個別の教育改革を支援している【4(2)-1-7】。2つの組織が両輪となって教育課程・教育内容・教育方法の改善に努めている。</p> <p>教育改革支援本部では、教育改革への具体的プログラム作成と実践を支援しており、例えば文部科学省教育改革支援事業（GP）等については、2008年度からの5年間で12件の採択を受けている。こうした事業の採択に至る支援として、採択された取組をホームページで学内外に発信している他、「GP事例報告会」を開催するなどして教育の質向上に関わる認識の共有を図っていることが挙げられる。また、教育改革支援本部では、教育改革支援事業を補完、育成するための学内助成制度（学内GP）を実施しており、2012年度はGPの各取組推進機関から計4件の助成の申請があり、教育改革のさらなる推進に活用されている【4(2)-1-9】。文部科学省への支援事業の申請、学内GPへの申請のいずれにしても、必然的に大学や学部の教育目標とカリキュラムの関係、他の科目との関連、学生が習得して置くべき学習成果の見直し、授業方法と教育効果等について向き合うこととなること「GP事例報告会」において明らかになっており、教育プログラムの改善に資する機会として有効に機能している。また、2014年度に採択されたスーパーグローバル大学創成支援（SGU）は、グローバル人材育成推進事業、アセアンセンターをコアとする世界展開力事業（アセアン）、国際大学との大学間連携事業である国際協力人材プログラム、そして昨年度終了したグローバル30事業などをも含む体系的な取組みになっていくこととなっている。本事業では、英語学位コース、英語での専門授業の展開が重視されているが、これは、世界に通用する強靱な知識・思考力と英語スキルの獲得が英語での専門授業により、可能になると認識している。</p>					<p>4(2)-1-6 明治大学教育開発・支援センター規程 4(2)-1-7 明治大学教育改革支援本部規程《既出1-38-1》 4(2)-1-8 教育改革支援・推進経費の運用に関する内規《既出1-38-3》</p>
<p>順次性のある授業科目の体系的配置（履修体系図やコース系統図の明示、科目相関図、4年間の履修モデル、適切な科目区分など）</p>						
<p>c ●教育課程の編成実施方針に基づいた教育課程や教育内容の適切性を明確に示しているか。（学生の順次的・体系的な履修への配慮） 【約400字】</p>	<p>国際協力人材育成プログラムでは、全て英語を用いた講義で展開し、モチベーション・パス、キャリア・パスの二つから構成されている。</p> <p>日本ASEAN相互理解プログラムでは、本学で開講する講義科目に加えて、ASEAN諸国の大学への留学や同地域で活躍する企業、国際機関、非営利組織等での実務実習を行う実習科目を設置している。</p> <p>グローバル人材育成プログラムでは、本学で開講する講義科目に加えて、海外大学への留学や北米やオセアニア地域で活躍する企業、国際機関、非営利組織等での実務実習を行う実習科目を設置している。</p>					
<p>教育課程の適切性の検証プロセスの明確化とその有効性</p>						
<p>d ●教育課程の適切性を検証するにあたり、責任主体・組織、権限、手続を明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させ、改善につなげているか</p>	<p>教育改革支援本部において、次の業務を遂行し、今後もGPに採択されるように申請事業を支援している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GPに係る募集、審査、選定、申請、情報収集及び分析 ・GPに係る予算要求および補助金収入配分 					

2014年度教育改革支援本部 自己点検・評価報告書

第4章 教育内容・方法・成果 2. 教育課程・教育内容

点検・評価項目	現状の説明	評価		発展計画		根拠資料	
◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述 (中長期的対応) H列にあれば記述	Alt + Enterで簡条書きに	
(2) 教育課程の編成・実施方針に基づき各課程に相応しい教育を提供しているか							
教育目標や教育課程の編成・実施方針に沿った教育内容（何を教えているのか）							
a	◎何を教えているのか。どのように教育目標の実現を図っているのか。 【400字程度】	グローバル人材育成のため、次の4つの全学部共通プログラムを設けている。 ① 国際協力人材育成プログラム ② 日本ASEAN相互理解プログラム ③ グローバル人材育成プログラム ④ 国際教育プログラム ①では、国際社会が取り組むべき地球規模課題（グローバル・イシュー）に対応、解決するための知識と能力を身につけた人材（国際協力人材）を育成する ②では、東南アジアの言語、文化、制度等に対する理解（ASEANリテラシー）、英語力及び実務分野における現場力を有した、様々な実務分野で日本と東南アジアの架け橋となりうる人材（日本ASEAN実務型リーダー）の育成を目指す。 ③では、強い個と高いコミュニケーション能力を有し、他者・他文化への洞察力を備え、それぞれの専門領域において活躍する人材の育成を目指す。 ④では、各学部の教育理念に基づいて設置している国際関係の授業科目を学部横断的に履修できる。					
特色ある教育プログラムの内容とその効果（当該学部等固有のプログラムやGP採択事業など）							
b	●特色、長所となるものを簡潔に記述してください。 【200字～400字程度】	2014年度GP採択事業 区分：スーパーグローバル大学創成支援 タイプB「グローバル化牽引型」 取組機関：教学企画事務局 採択事業：「世界へ！ MEIJI8000 -学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成-」					

2014年度教育改革支援本部 自己点検・評価報告書

第9章 管理運営・財務

1. 管理運営

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		根拠資料 Alt+Enterで簡条書きに
		効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述	
(1) 大学の理念・目的の実現に向けて、管理運営方針を明確に定めているか。						
a ●意思決定プロセスや、権限・責任(教学と法人の関係性)、中長期的な大学運営のあり方を明確にした管理運営方針を定めているか。 ●方針を教職員が共有しているか。	大学の教育理念に基づく教育の質的向上を図り、社会に有用な人材を育成するための優れた教育改革への取組に対する支援・推進を図るという目的を達成するため、教育改革推進本部を設置し、運営している。 教育改革推進本部規程を学部長会・理事会の議を経て定め、周知している。 幹事会で方向性を決定し、本部会議で承認している。 教育改革支援本部規程第2条及び第7条に規定している【9(1)-38-1】。					9(1)-38-1 教育改革支援本部規程《既出1-38-1》
(2) 明文化された規程に基づいて管理運営を行っているか						
a ◎関連法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備とその適切な運用	教育改革支援本部は、教育改革支援本部規程に基づき、管理運営している【9(1)-38-1 第2条】。 ①中・長期的な管理運営方針の策定と大学構成員への周知 ②意思決定プロセスの明確化 ③委員会の権限と責任の明確化 ④関連法令に基づく管理運営に関する学内諸規定の整備とその適切な運用 ⑤本部長等の権限と責任の明確化 ⑥本部長等の選考方法の適切性 ・本部は、次に掲げる者をもって組織する【9(1)-38-1 第3条】。 (1) 本部長 1名 (2) 副本部長 1名 (3) 本部員 10名程度 ・本部長は、学長の命を受けて本部の業務を総括し、本部を代表するとともに、本部会議の議長となる【9(1)-38-1 第4条】。 本部長は、学長の命を受けて本部の業務を総括し、本部を代表するとともに、本部会議の議長となる。本部長は、教務部長又は副教務部長のうちから学長が指名する。副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるときは、その職務を代行する【9(1)-38-1 第5条】。 また、教育改革支援・推進経費の運用に関しては、各申請取組への助成金額及び助成時期について、当該年度の教育改革支援・推進経費の予算内において、本部長、副本部長及び本部員の中から本部長が指名する2名の本部員により構成する幹事会において協議のうえ、決定する【9(1)-38-2】。					9(1)-38-1 教育改革支援本部規程《既出1-38-1》 9(1)-38-2 明治大学教育改革支援・推進経費内規《既出1-38-3》
(3) 付属機関等の業務を支援する事務組織が設置され、十分に機能しているか						
a ●事務組織の構成と人員配置の適切性 ●検証プロセスを適切に機能させ、改善につながっているか	本部の事務は、教務事務部教務事務室が行い、具体的には教務事務長及び専任職員1名の計2名が行っている【9(1)-38-4】。					9(1)-38-4 教務事務室業務分担表(2014年度)
(4) 事務組織の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか						
a (有効性、検証システムと改善状況) ●事務職員の資質向上に向けた研修などを行うことによって、改善につながっているか。	文部科学省のホームページを適時確認し、最新の動向を捉えるとともに、必要に応じて文部科学省主催のGP公募説明会へ出席している【9(1)-38-5】。					9(1)-38-5 国公立私立大学を通じた大学教育改革の支援《既出2-38-4》 http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/index.htm

2014年度教育改革支援本部 自己点検・評価報告書

第9章 管理運営・財務 2. 財務

点検・評価項目 ◎…法令等の充足を評価する項目です。 ●…学部等が掲げる方針や目標の達成状況を評価する項目です。	現状の説明 C列の点検・評価項目について、必ず記述してください	評価		発展計画		根拠資料 Alt+Enterで簡条書きに
		効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述 (中長期的対応) H列にあれば記述	
(1) 教育研究を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。						
中・長期的な財政計画の立案	文部科学省が行う各種教育支援プログラムでは、各大学がどのように教育活動に「個性・特徴」を發揮しているのかが問われている。教育改革支援本部では、各プログラムに対応する取組の育成への支援だけではなく、GP採択後に当該取組を実際に展開する際にも積極的な財政支援を行う必要がある。また、GPに採択され補助の対象となる期間が終了した後に、取組を継続する必要があるにもかかわらず、政策経費等で予算が認められなかった場合には、教育改革支援・推進経費を活用して支援を行うことが必要である。補助金獲得による大学財政への貢献は言うに及ばず、恒常的なGP採択を目指す懸命な教育改革への具体的プログラム作成と実践が、本学の理想的教育環境を構築していくことに繋がる。 【9(2)-38-1 第2条第1項第4号】					9(2)-38-1 教育改革支援本部規程《既出1-38-1》
科学研究費補助金、受託研究費等の外部資金の受け入れ状況	教育改革支援本部会議において、GP10年間の採択状況を把握している。					
消費収支計算書関係比率および貸借対照表関係比率の適切性	教育改革支援・推進経費の運用に関する内規に基づき、経費は適切に運用されている。					
(2) 予算編成及び予算執行を適切に行っているか						
① 予算編成の適切性と執行ルールの明確性、決算の内部監査	次に掲げる取組に対する財政支援を目的とする【9(2)-38-2】、支援対象【9(2)-38-3、9(2)-38-4】。 (ア) 教育改革支援本部において申請可能と判断した取組 (イ) 不採択だったものの再申請をめぐしている取組 (ウ) 採択された取組の初年度において、補完または広報をするための支援 (エ) 採択され、補助の対象となる期間が終了した後の取組 (オ) その他学長が特に必要と認めた取組 本部長（もしくは幹事会）が提案し、学長の下承を得て執行する。					9(2)-38-2 明治大学教育改革支援・推進経費内規《既出1-38-3》 9(2)-38-3 明治大学教育改革支援・推進助成費申請書《既出1-38-4》 9(2)-38-4 2014年度予算管理簿《既出2-38-1》
② 予算執行に伴う効果を分析・検証する仕組みの確立	教育改革支援本部会議において、予算執行に伴う効果を分析・検証をしている。					

2014年度教育改革支援本部 自己点検・評価報告書

第10章 内部質保証

点検・評価項目	現状の説明	評価		発展計画		根拠資料
		効果が上がっている点 F列の現状から記述	改善を要する点 F列の現状から記述	「効果が上がっている点」 に対する発展計画 G列における伸張項目	「改善を要する点」に対する発展計画 (当年度・次年度対応) H列にあれば記述 (中長期的対応) H列にあれば記述	
(1) 大学の諸活動について点検・評価を行い、結果を公表することで社会に対する説明責任を果たしているか						
a ◎自己点検・評価を定期的実施し、公表していること 【約400字】	① 評価に関する委員会等の設置（名称，メンバー，年間開催回数） 教育改革支援本部または幹事会の会議内で活動の点検及び評価を確認し，質保障を行っている【10-38-1 第2条】。 ② 評価報告書等の作成，公表 自己点検・評価報告書を作成し，公表しているほか，学内外から参加を呼びかけ，感想や意見などを参加者から求める「明治大学GP採択事例報告会」を通じて，外部に公表も行っている。ただし，2011年度に採択された事業がなく，また2012年度に採択された事業の実際の活動スタートが2013年からであったため，2012年度は「GP採択事例報告会」を開催しなかった。					10-38-1 教育改革支援本部規程《既出1-38-1》
(2) 内部質保証に関するシステムを整備しているか						
a ●内部質保証の方針と手続を明確にしていること。 ●内部質保証をつかさどる諸組織(評価結果を改善)を整備していること ●自己点検・評価の結果が改革・改善につながっていること ●学外者の意見を取り入れていること ● 文部科学省や認証評価機関からの指摘事項に対応していること 【800字～1000字程度】	大学の教育理念に基づく教育の質的向上を図り，社会に有用な人材を育成するための優れた教育改革への取組に対する支援・推進を図るという目的を達成するため，本部の活動が十分に機能するようその活動内容を評価し，改善するとしている。 内部質保証のシステムとして，当該年度のGPについての発表及び意見交換をする場として，年に1回GP採択事例報告会を開催している。また，教育改革支援本部を定期的に開催し，PDCAを行っている。 毎年，本学で発行している年度計画書にて，過年度の教育改革支援本部の成果を検証しつつ，課題を発掘し，将来に向けての改善計画を立てている【10-38-2】。					10-38-1 教育改革支援本部規程《既出1-38-1》 10-38-2 2015年度教育・研究に関する年度計画書10頁

II. 教育研究組織

2014年度の申請・採択事業

申請年度	取組名	取組部署	区分
2014	世界へ！MEIJI8000 ー学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成ー	教学企画事務室	スーパーグローバル大学創成支援（タイプB）